

平成二十九年十一月十七日受領  
答 弁 第 二 一 一 号

内閣衆質一九五第二一号

平成二十九年十一月十七日

内閣総理大臣 安倍 晋 三

衆議院議長 大島 理 森 殿

衆議院議員逢坂誠二君提出安倍総理が加計問題の獣医学部新設を初めて知った日に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員逢坂誠二君提出安倍総理が加計問題の獣医学部新設を初めて知った日に関する質問に対する答弁書

一について

安倍内閣総理大臣（以下「安倍総理」という。）が学校法人加計学園の獣医学部の新設に係る計画を知った日は、平成二十九年七月二十五日の参議院予算委員会において、安倍総理が「最終的には本年一月に事業者の公募を行い・・・加計学園から応募があったわけであります。その後、分科会でのオープンな議論を経て一月二十日に諮問会議で認定することになります。その際、私は初めて加計学園の計画について承知をしたところであります。」と答弁しているとおりである。

二及び三について

お尋ねについては、平成二十九年七月二十四日の衆議院予算委員会において、安倍総理が「加計さんは政治家になるずっと前からの友人関係であります。しかし、彼が私の地位や立場を利用して何かをなし遂げようとすることは一度もなかったわけであります。彼はチャレンジ精神を持った人物であり、時代のニーズに合わせて新しい学部や学科の新設に挑戦していきたいという趣旨のお話は聞いたことがございま

す。しかし、今まで彼もさまざまな学部・学科をつくってきたわけですが、そういうことも含めて具体的に、何かを今つくろうとしている、ですから、今回でいえば、獣医学部をつくりたい、さらには今治市にといった話は一切ございませんでした。」と答弁しているとおりである。